

バス停タイムス

2014年5月 2日 No.20

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

快適な職場環境を強く要求！

SEK「新幹線エンジニアリング(株)」と団体交渉開催！

大井基地で働く皆さん、大変お疲れ様です。

JR東海労新幹線地本は4月25日、SEK（新幹線エンジニアリング株式会社）本社と団体交渉を開催し、作業環境や要員問題を中心に労働条件改善を強く訴えてきました。

CIフロア清掃作業は9番線では行わないこと！

CIフロア清掃作業（CI熱交換器整備検査工事）が第一検修庫の9番線で行うことがあります。床に凹凸があり、リフターの水平を保てないなど非常に危険な状態での作業を強いられることから、絶対に9番線では行わないことを主張しました。

SEKの回答は「極力入れないようにJRに要請しているが、やむをえない場合もある」というものでしたが、ハード面での対策不足もあり絶対に入れないように、今後もJRに要請することを強く求めました。

業務量に合わせて適正な要員を！

熱交換器清掃作業は8名体制で行っていますが、申告対応が発生すると2名が抜けて6名での作業となります。また、昨年よりフィルター清掃、ゴミ箱化粧カバーシールはがし、水封清掃作業等の業務が増えているにも関わらず、要員は増えていません。

SEKは6名が基本であるとして、話しが平行線のまま対立に終わりました。このような作業形態は労働強化であり、安全上も問題であることから業務量に見合った適正な要員を配置することを強く要求しました。

社員をもっと大事に！人間らしい扱いを！

冬の検修庫は吹きさらし状態で非常に寒く、疲労が激しいため作業の合間に暖をとるなど疲労回復できる対策をとること。また、夜間の作業はほとんど立ちっぱなしであり疲労がかさむため、作業の合間などに座って休憩できるように準備室や待機場所に椅子などを用意することを求めました。SEKの回答は、休憩時はJKビルの詰所に戻ればよいというものですが、検修庫からいちいち戻れるものではなく、現実とかけ離れています。私たちは社員をもっと大事にして、快適な職場環境にするべきだと繰り返し主張しました。

JKビルの設備改善が実現！

JKビル4階の流し台は、冬の期間中お湯が出ない状態が続きましたが、今回の改善要求後、お湯が出るようになり皆さんから喜ばれています。また、風呂の浴槽が水漏れを起こしている状況が続いていましたが、これも改善要求後に修理手配がなされたことが明らかになりました。要求のほんの一部ですが、改善が実現されました。昨年から声を出してきた成果が現れたものです。

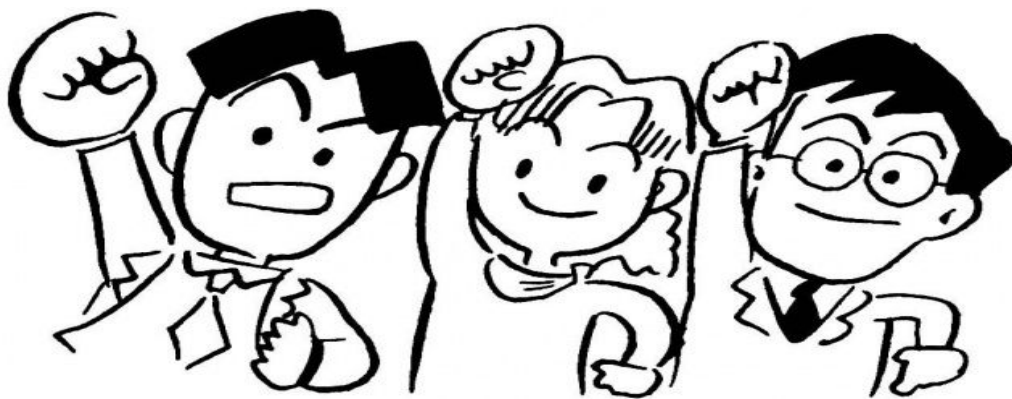
問題はまだまだある！粘り強く声を出そう！

今回の団体交渉では他にも多くの問題について要求しました。

- ・第二修繕には専用のターレットがないため早急に配備をすること！
- ・仕業検査担当者はデインプル錠がなく不便なため貸与をすること！
- ・交番検査の島デッキや軸探室のコンセントの容量を大きくすること！
- ・JKビル4階の小便所からの悪臭に対する根本的対策をとること！
- ・自然災害など異常時に会社に泊まった場合の社員へのフォローの充実を！
- ・点呼時の夏服期間を5月～10月とし、柔軟な対応にすること！

などなど、今後も引き続き要求していきます。

労働安全衛生法に基づく「事業者が講ずべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針」には「作業環境の管理」「作業方法の改善」「疲労の回復を図るための施設・設備の設置・整備」などが示されています。働きやすい職場環境と労働条件改善を求めて、共に職場から声を出していきましょう！



快適な職場環境と労働条件改善を目指して

さらに声を出していきましょう!!

ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>

メールアドレス

jrcushinkansen@yahoo.co.jp

お気軽にアクセスしてください